



PRESS RELEASE

2010年3月17日

報道各位

株式会社エフエム東京  
株式会社エフエム福岡  
クワトロメディア株式会社

---

---

TOKYO FM、FM FUKUOKA、クワトロメディア、  
リスナー投稿型マルチメディア放送番組の  
「つぶやきラジオ」の実証実験を開始！

---

---

株式会社エフエム東京(東京都千代田区、代表取締役社長:富木田道臣、以下「TOKYO FM」)、株式会社エフエム福岡(福岡市中央区、代表取締役社長:藤丸修、以下「FM FUKUOKA」)と、クワトロメディア株式会社(東京都港区、代表取締役社長:山本直人、以下「クワトロメディア」)は、福岡ユビキタス特区にて行われている「3セグメントマルチメディア放送実証実験」において、リスナー投稿型マルチメディア放送番組「つぶやきラジオ」の実証実験を、福岡マルチメディア放送実験試験局 703ch上で2010年3月18日より開始致します。

「つぶやきラジオ」は、放送中の番組に対しての感想や意見をリスナーが通信経由で書込み、その投稿をデータ放送領域にリアルタイムで表示するサービスです。従来の視聴するだけの放送サービスとは異なり、リスナー自身が情報配信に参加し、他のリスナーとのコミュニケーションが取れる新しい放送サービスです。このサービスは福岡ユビキタス特区で実施されている FM FUKUOKA のサイマル放送番組にて実施いたします。放送時間は月～金までの 9:00～17:00 となります。

福岡ユビキタス特区「3セグメントマルチメディア放送実証実験」は、2011年以降にアナログテレビが終了した跡地の周波数帯である VHF-LOW 帯を利用して全国でスタートする「地方ブロック向けマルチメディア放送」の先行実験と位置付けられています。



実験を実施する各社の役割は以下の通りです。

<TOKYO FM>

福岡ユビキタス特区実験試験局の運営、放送コンテンツの送出管理を行います。

<FM FUKUOKA>

FM FUKUOKA の放送番組を提供(サイマル放送)するとともに、リスナーの書き込みを番組に反映します。

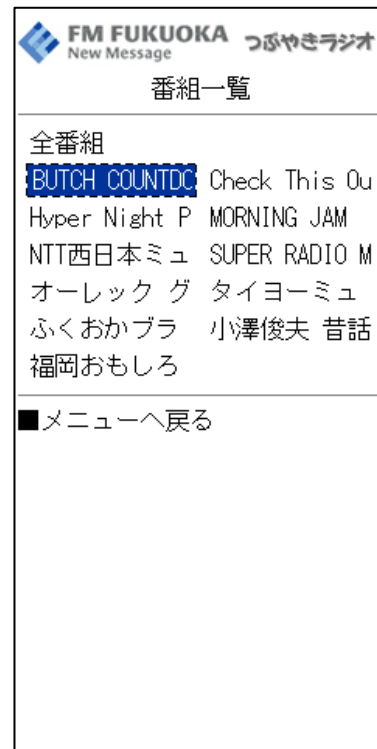
<クワトロメディア>

データ放送コンテンツの制作、リスナーからの投稿の管理、通信サーバーの運営を行います。

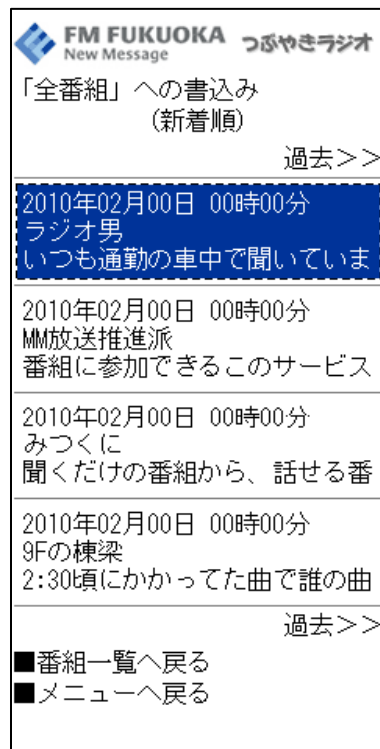
TOKYO FM、FM FUKUOKA、クワトロメディアは、今後も福岡ユビキタス特区「3セグメントマルチメディア放送実証実験」を通して、マルチメディア放送の特色の1つであるデータ放送の新しい利用方法を提案してまいります。



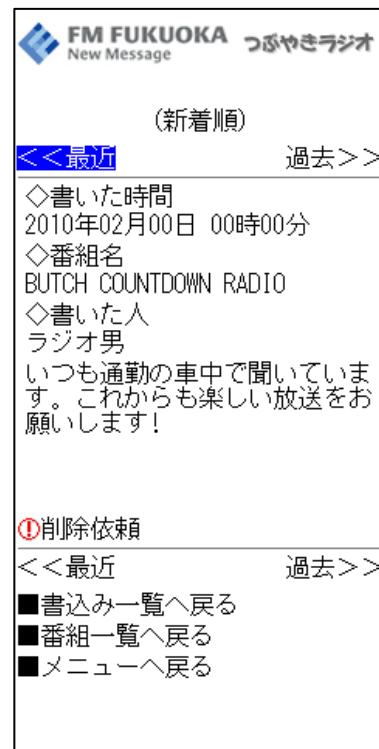
トップ画面



番組選択画面



書き込み一覧画面



書き込み詳細画面